

## 第71回舞踊学会大会

# 「舞踊学の現在とその可能性」

### ■企画趣旨

舞踊学（Dance Studies, Tanzwissenschaftなど）は、その研究対象が、日欧米などの「芸術舞踊」、その他地域も含む「民族舞踊」、それ以外の舞踊などと多岐にわたり、研究手法や視点に関しても、舞踊史研究や美学、舞踊教育、体育学、運動学、民俗学、文化人類学、文化経済学、アートマネジメント、あるいは統計学的手法などが絡み合い、さらに、実技やその指導に携わる研究者も含む点で、他のいかなる人文社会自然諸科学とも異なっている。本大会は舞踊学のこうした現状を全体としてとらえ、舞踊学そのものの可能性を探る。

■日時 令和元年（2019年）12月7日（土）・8日（日）

■会場 専修大学生田キャンパス10号館

■主催 舞踊学会

## 1. 全体スケジュール：会場はいずれも専修大学生田キャンパス10号館

12月7日（土）		12月8日（日）	
9:30	受付開始【10号館2階】	9:30	受付開始【10号館2階】
10:00～12:00	一般研究発表【10202, 10204】	10:00～12:00	一般研究発表【10202, 10204】
12:10～13:10	理事会【105T】	12:00～13:00	昼休み
12:20～14:10	ポスター発表【10215】		
13:10～14:10	ポスター発表在席責任時間【10215】	13:00～15:30	シンポジウム「舞踊学の現在と可能性」【10202】
14:20～16:20	基調講演：三浦雅士「舞踊学の射程」【10202】		
16:30～17:20	総会【10202】		
17:30～19:30	懇親会【10号館4階シダックス】		



## 2. 特別企画

### (1) 基調講演

三浦雅士（文芸評論家，舞踊批評家，日本芸術院会員，舞踊学会理事）  
「舞踊学の射程」

12月7日（土） 14時20分～16時20分  
専修大学生田キャンパス10号館 10202教室

### (2) シンポジウム

「舞踊学の現在と可能性」

海野 敏（東洋大学社会学部教授）  
「舞踊研究におけるコンピュータ利用：モーションデータが触発する振付創作」  
小林直弥（日本大学芸術学部教授）  
「日本舞踊の構成とその意義から考える現状と未来」  
酒向治子（岡山大学教育学研究科准教授）  
「STEAM教育における舞踊の可能性」  
高橋京子（フェリス女学院大学准教授）  
「からだを通して学ぶひらかれた舞踊学—カラリパヤットを事例に」  
富田大介（追手門学院大学社会学部准教授）  
「踊り／関わり 佐久間新の鏡」  
譲原晶子（千葉商科大学教授）  
「実践と理論の間で」  
司会：貫 成人（専修大学文学部教授）

12月8日（日） 13時00分～15時30分  
専修大学生田キャンパス10号館 10202教室

### 3. 口頭発表スケジュール（時間・発表者（代表者）・タイトル・座長）

#### 第一日：12月7日（土）：第一会場【10202】

10：00	山本絵里子 秦 政寛 皆川泰代	乳児期における「おどり」行動の発達的変遷	大橋さつき (和光大学)
10：20	高橋系子 大貫秀明	保育者とからだ—寄り添えるからだの内実—	
10：40	村瀬瑠美 寺山由美	幼児の身体表現活動におけるオノマトペが引き起こすイメージと動き—幼児それぞれのイメージに着目して—	
11：00	土井冬樹	文化を伝えるカパハカ：ニュージーランドのダンス教育の事例から	弓削田綾乃 (和洋女子大学)
11：20	細谷洋子	多人種多民族国家ブラジルにおけるフォークダンスの多様性	
11：40	出田恵史	現代タイにおけるクラシックバレエ実践をめぐる諸相	

#### 第一日：12月7日（土）第二会場【10204】

10：00	柿沼美穂	動きが醸し出す音楽—「運動メロディ」とは何か	松澤慶信 (日本女子 体育大学)
10：20	武藤大祐	舞踊のゲーム性—規則と魔法円（magic circle）の働き	
10：40	宮下寛司	観客におけるフィクションの必要性	
11：00	藤田明史	ストリートダンスにおける模倣と独創性	外山紀久子 (埼玉大学)
11：20	ケイトリン・ コーカー	舞踊学に文化人類学的かつ情動論的な研究方法を	

## 第二日：12月8日（日）第一会場【10202】

10：00	野邊壮平 児玉孝文 豊福彬文 高橋るみ子	“公立ではない公共”の劇場をデザインする	福本まあや (お茶の水 女子大学)
10：20	林 夏木	現地のサンバ指導法とサンバ教材化研究	
10：40	鈴木裕美子	オーストラリアにおける舞踊教育 －ECUのWAAPAの取り組みについて－	
11：00	藤村港平	ダンサーの身体に現れる即興性に関する研究	八木ありさ (日本女子 体育大学)
11：20	天野絵美	創作ダンスにおけるユニゾンに関する研究 －全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）の受賞 作品に着目して－	
11：40	屋代 澄 寺山由美	連続した動きに現れるダンサーの呼吸の実態について －モダンダンス熟練者を対象に－	

## 第二日：12月8日（日）第二会場【10204】

10：00	三宅香菜子	1970年代の日本におけるカニングム受容	酒向治子 (岡山大学)
10：20	丹羽晶子	19世紀後半フランスの女性像とバレエ －女性向けモード誌La Sylphideの記事に着目して－	
10：40	池原 舞	ダンサー不在のバレエ「花火」における光と音の コラボレーション	譲原晶子 (千葉商科大学)
11：00	古後奈緒子	装飾バレエとアイデンティティ：〈電気の女神〉は何を 表象するのか	
11：20	山口庸子	ドイツ表現舞踊のジャポニズム	

## 7. ポスター発表リスト【10215】

発表者名	所属	タイトル
太田真由	お茶の水女子大学大学院 博士後期課程	デボラ・ヘイの実践で起こるパラドックスについて
吉田駿太郎 呉宮百合香 児玉北斗 宮川麻理子 藤本雄二郎	東京藝術大学大学院博士後期 課程3年／ニューヨーク大学 客員研究員 早稲田大学大学院博士後期課 程3年／日本学術振興会特別 研究員 立命館大学大学院一貫制博士 課程3年 千葉大学非常勤講師 早稲田大学大学院修士課程 修了	現代におけるダンスの実践と理論の拡張
岡本悦子 湯澤美紀	就実大学 教授 ノートルダム清心女子大学 准教授	即興を中心に据えたダンス授業における観察と言語化 が大学生の自己理解に及ぼす影響 ～ 質的分析を通して
橋本有子 村越直子 東出益代	お茶の水女子大学 講師 武庫川女子大学 准教授 武庫川女子大学 非常勤講師	バレエダンサーへの「新たな質的フィードバック」の 試みとその効果
谷川沙也歌 酒向治子	岡山大学大学院 教育学研究科 教育科学専攻 修士課程2年 岡山大学大学院 教育学研究科 准教授	ダンス指導で求められる教師の資質・能力に関する 研究一語りの質的検討一